

昭和の怪物 #02

堀江貴文

康芳夫 (プロデューサー)

聞き手 美楽発行人 東正任



(構成：長山清子、撮影：遠藤素子)

人工知能、フェイスブック、 ネーション、イスラム国

昭和。それは、古臭くなりつつあるが、日本が未曾有の成長を遂げた偉大な時代でもあった。昭和に生まれ、今なお活躍する“怪物”たちは今何を考えているのか。「リクルートの裏看板」としてマーケティングなどを担当してきた東正任氏をホストとして、「昭和の怪物“たちの実像”に迫る。第2回目は、「アントニオ猪木 vs. モハメド・アリ」を仕掛けた伝説のプロデューサー、康芳夫氏をゲストに迎える。

AIってどうですか

康 今後の人類の運命を決める問題はいろいろあると思うけど、人工頭脳(AI)ってどうですか。

堀江 素晴らしい知性が生まれてくるんじゃないですか。賢い人物が生まれてくるだろうから、すごいと思うんですけどね。

東 少し劇画的で一部の人が騒ぎすぎではないですか？

康 人類が破滅するような問題にはつながらない？

堀江 つながらないと思いますけどね。

堀江貴文 ほりえ・たかふみ

1972年福岡県生まれ。実業家。ライブドア元CEO。民間でのロケット開発を行うSNSのファウンダー。東京大学在学中の1996年、23歳のときにオン・ザ・エッジ(後のライブドア)を起業。2000年、東証マザーズ上場。2006年1月、証券取引法違反で逮捕され懲役2年6カ月の実刑判決を下される。2013年11月に刑期を終了し、再び多方面で活躍する。

東正任 ひがし・まさとう

1953年鹿児島県出身。リクルート販売部、宣伝部、メディアデザインセンター、ダイエープロジェクト(異邦人の眼プロジェクト)代表を経て1999年8月退社。現在は、株式会社美楽界(株式会社夕焼創造研究所)の代表。多数の企業、財団の取締役や顧問も務める。

康芳夫 こう・よしお

虚業家。伝説のプロデューサー。1937年東京西神田で、駐日中国大使侍医の中国人父と日本人母の次男として誕生する。東京大学卒業後、興行師神彰の元で大物ジャズメン(ソニー・ロリンス)などの呼び屋として活躍。その後独立、三島由紀夫が通いつめた「アラビア大魔法団」、「インディ500マイルレース」などを呼ぶ。また、ライフワークとしての、『家畜人ヤブー』プロデュース、ネッシー捕獲探検隊結成、モハメド・アリ戦の興行、かのオリバー・君招聘、アリ対猪木戦のフィクサーなどをこなし、メディアの風雲児として、また、あらたなフィールドとしてTVドラマ『ディアスポリス 異邦警察』及び映画『ディアスポリス-DIRTY YELLOW BOYS-』<http://www.dias-police.jp/>にて東京都事コテツ役で出演し怪優として活躍を続けている。新刊、康芳夫監修『虚人と巨人』も映画公開と同時に発売(辰巳出版)した。

康 英国の世界的な宇宙理論物理学者のホーキング博士は、これで人類が破滅すると盛んに警告しているんです。

東 シンギュラリティの警告。2045年には人工知能が人間の知能を超えるという、2045年問題ですね。

康 ええ。僕は昔、ホーキングといろいろコミュニケーションがあつたんです。

僕は彼の意見は正しいような気がする。堀江さんのような知恵者は、この人工頭脳と人類の未来についてどういうふうに考えているか、ぜひ聞いてみたいな。

堀江 僕は逆にすごく利用したいと思いますよ。

人工知能ってみんな十把一絡げにするんですけど、身体性の獲得とか、ディープラーニングとか、記憶の外部位とか、いろいろあつて多様なんです。僕はAIの進化にすごく適応しているんですね。

たとえば僕はクイズ番組とかにも出るんですけど、ああいう番組で求められるような記憶系の学習をするのをやめたんです。だから人の顔とかは全然覚ええない。

Googleがずっと開発していた、コンタクトレンズ型とかメガネ型のデバイスがあるじゃないですか。ああいうAR（拡張現実）の

開発も、ポケモンGOがはやつたおかげでものすごく加速すると思うんですよ。だって、ポケモンGOに使いたいから。

東 楽観論と悲観論つまり、カーツワイルとバレットとも共存しますよ。

堀江 超人類が生まれるとどうなるかということ、インプラントをしている人間としていない人間が明確に分かれる。

前者はものすごい勢いで進化をしていくけれど、後者はそのまま溶けていく。

それを崩壊と言うのかどうかかわらないけれど、大多数の人間はもともと溶けていたようなものだから、実は今とあまり変わらないのかもしれない。

康 今でもそうなんだけど、ごく一部の超エリートが世界をコントロールするでしょうね。

堀江 うん。それが暗黒なのか暗黒じゃないのかというと、実は今とそれほど変わらないんじゃないかと僕は思うんですよ。

康 うん。僕は戦争の形が変わると思う。北朝鮮とアメリカが戦った場合は、人工頭脳が戦うことになる。どっちの人工頭脳が優れているかという戦いになってくる。核兵器の使用も含めて。

堀江 たとえばARグラスをつけたら、「この人は東さんです」って表示されて、初めて会ったのがいつで、いままで何回会ったかということも全部ARグラスの中に出てくるわけですよ。

あるいは耳元で教えてくれるかもしれない。いずれそういうふうに記憶の外部位が実現するから、もう僕は人の顔を覚えないようにしたんです。

覚えるための時間も脳のメモリーももつたないから。

記憶の外部位というのも、一種のバーチャルなサイボーグ化というんですかね。コンピューターがインプラントされる。

これは使っている人と使っていない人で相当差が出てきます。いまデジタルネイティブの人たちは「わかんないことあつたらググリゃいいじゃん」みたいになってるでしょう。ガンダムでいうところのニュータイプですよ。

実はAIも同じで、ディープラーニングというのは人間の学習のプロセスを高度化するわけじゃないですか。

あれは幼児が知性を獲得するプロセスを模式化しているので、仕組みは一緒なんです。だからこれからの人間は、たぶん脳とコンピューターをハイブリッドで使いこなすようになると思う。

東 生命体と機械の合作として人間の判断に貢



Nを成り立たせているのは情報統制

堀江 でも、N（ネーション）は崩壊していきますから。

なぜかというところ、これはやっぱり通信革命なんです。ベルリンの壁は、国境を越えて電波が届く衛星放送が崩壊させたわけじゃないですか。あの時代に衛星放送の技術が確立されて、衛星の電波が東ドイツに届いて、それがきっかけでベルリンの壁は崩壊した。

実はNを成り立たせているのは、情報統制なんです。

だけどインターネットが垣根を越えさせているから、いろんな国で、いま過渡的な現象が起きています。

たとえばアラブの春というのは、Nに対する暴動ですけど、あれは明らかにインターネットやSNSが影響を与えているんですよ。

いま北朝鮮や中国ではインターネットを遮断していますけど、これからは遮断できないインターネットも出てきますからね。

なぜかというところ、高度100キロ以上は領空ではない。ということは、低軌道に衛星を山のように飛ばせばネットにつながる。

そういうことをGoogleやFacebookは考えているし、僕たちもその一翼を担おうとしている。

そうするとあと10年以内に、中国や北朝鮮の

人が本当の意味でのインターネットに触れられるようになる。

するとどうなるか。

「俺たちは今までだまされていた。天安門事件というのがあったんだ」とか、「金正恩って何だよ」みたいな大騒ぎになって、暴動が起きて国が崩壊するシナリオは十分考えられますよ。

人工知能とかロボット化の話でいうと、今、パラリンピックのほうで記録が出るようになっていないじゃないですか。それはサイボーグデバイスがものすごく発達しているから。

これを全部スマートフォンにつなげるとどうなるかというところ、「マルコヴィッチの穴」という映画みたいになる。他人の頭の中がのぞける穴の話ですけど。

康 だけど、たとえばね、もう今のIS（イスラム国）は潰れると思うけど、もっと強力な次のISが出てきて、彼らが最高の人工頭脳を手にしたらどうなる？

堀江 でも、やっぱりISはNを前提とした組織なんです。Nという敵の存在が彼らにとって必要なわけじゃないですか。Nがなくなると、ISはたぶん存在し得なくなるんですよ。

東 いずれにしてもビッグ・データと人間の「情念」の住み分けができてきますね。

献するのがAIです。機械はあくまで過去のデータの結果にすぎませんから。

堀江 そうですね。例えば、すごくプリミティブな話ですけど、人の顔を覚えたりするのはむしろAIのほうが得意ですから。

Facebookの写真が勝手にタグ付けされてたりするじゃないですか。あれはAIが人間の顔データを見分けているからですよ。

だからたぶんニュータイプ、超人類が生まれるんじゃないですか。